

公立放課後児童クラブのおやつに関する調査結果について

10月28日に掲載しました、おやつに関する苦情「おやつの残り物を指導員が持ち帰っている。保護者のおやつ代で購入したものを職員が持ち帰ることは、横領に近い行為である。」とのご意見を受け、当法人で運営しております74か所すべての放課後児童クラブに対し調査を行いました。

その結果、すべてのクラブで大切な食べ物をごみとして廃棄することを極力なくし、子どもたちにお替りとして提供したり、おやつバイキングと称して楽しく食べられる工夫がされていますが、ご指摘のおやつの残り物の持ち帰りに関連し、次のことが判明いたしました。

残ったおやつの処理については、74のクラブのうち

- ① すべてゴミとして廃棄している。 69
- ② ゴミとして捨てるのはもったいないので職員が自宅に持ち帰ったことがある。 5

②に関連する内容として

- ア 衛生上どうしてもクラブで捨てられないもののみ、持ち帰って処分したことがある。(生菓子等)
- イ 期限が過ぎてしまったお菓子は捨てるのがもったいないので、職員全員で分けて持って帰ったことが1、2回ある。
- ウ 残ったおやつを職員が原価で買い取り、そのお金で子どもたち用のお菓子を買ひ、おやつの時に提供している。
- エ 職員もおやつ代を払っているのに、食べられなかった分を持ち帰っていた。今後は購入する数を少なくして、捨てるものがないよう消費していく。
- オ 期限切れのおやつは職員が自宅に持ち帰って家庭ごみで捨てている。
- カ 生ものに関しては翌日に回せず、もったいない気持ちから利用者の目の届かないところで職員が食べるがあった。

このうち、イ、ウ、カについては、不適切な処理であるため、今後行わないよう厳重注意し、徹底を図りました。(なお、ア、オについては産業廃棄物処理の問題として、エについては、職員が共におやつを食することの是非の問題として、今後の検討課題といたします。)

以上のように、過去、一部のクラブにおいて、賞味期限切れのおやつを職員が自宅に持ち帰り処分していたり、職員が食していたことがわかりました。このような行為で皆様に疑念を抱かせてしまったことを深くお詫び申し上げます。当事業団は、おやつの提供及びおやつ代の取扱いに関しては、「放課後児童クラブ保育マニュアル」に基準を定めております。今後は今まで以上に各クラブへのルールの徹底を図って参ります。

今回のご意見により、運営している74か所すべての放課後児童クラブのおやつ提供状況を調査する機会となりました。同時に職員からもおやつの提供の仕方について、様々な意見やアイデアが出されました。今後、さらに検討し運営の改善につなげて参ります。

利用者の皆様には、今後も運営に対しご理解とご協力くださいますようお願いいたします。また、ご意見やご要望がありましたらお寄せくださいますよう合わせてお願いいたします。

事務局長

平成23年12月28日